



地域と農業を結ぶ、ふれあいと絆の発信源“あぐれっしゅ”

Agresh

3 2025 月号 No.180



特集 生産組織代表者との意見交換会

農家さんの料理教室 春の味覚タラの芽の 肉巻き&生ハム巻き



《タラの芽の下準備》
下の固い部分を切り落とし、周りの茶色い部分を取り除いて水で洗っておく

肉巻き

材料(2人前) 調理時間: 15分
 ・タラの芽…………… 8個 ・焼肉のタレ…………… 適量
 ・豚バラ肉…………… 8枚 ・サラダ油…………… 適量

- 作り方
- ① タラの芽をたて半分に切って耐熱ボウルに入れ、ふんわりラップをしたら500Wのレンジで1分半加熱する
 - ② 豚バラ肉を1枚敷いて、加熱したタラの芽2つを重ねて巻いていく。同じようにすべて巻く
 - ③ 熱したフライパンにサラダ油をひいて、巻き終わりを下にして焼く
 - ④ 肉に火が通ったら、焼肉のタレを回し入れ、煮絡めたら完成!

生ハム巻き

材料(2人前) 調理時間: 10分
 ・タラの芽…………… 5個 ・オリーブオイル…………… 適量
 ・生ハム…………… 10枚 ・ブラックペッパー…………… お好みで

- 作り方
- ① タラの芽をたて半分に切って耐熱ボウルに入れ、ふんわりラップをしたら500Wのレンジで1分半加熱する
 - ② 生ハムを1枚敷いて、加熱したタラの芽を一つずつ巻いていく
 - ③ お皿に盛り付け、オリーブオイルとお好みでブラックペッパーを振ったら完成!



酢みそ和え

材料(2人前) 調理時間: 5分
 ・タラの芽…………… 5個
 ・酢みそ(市販でOK)…………… 適量

- 作り方
- ① タラの芽をたて半分に切って耐熱ボウルに入れ、ふんわりラップをしたら500Wのレンジで1分半加熱する
 - ② 酢みそをかけて全体になじませ、お皿に盛り付けたら完成!



今月の先生

むつ支店管内
 鴨田 輝雄さん・照子さん
 タラの芽(原木)80アールで栽培

パパッとできる簡単料理です。お湯を沸かして茹でなくても、レンジで温めることで時短になりますし、お湯に栄養が流れ出ることもありません。生ハム巻きはテレビ取材を受けて紹介された食べ方です。タラの芽の香りがしっかりと感じられておいしいですよ。3品のほかにも、天ぷらや炒めものなどお好きな食べ方で春を先取りしてみてください。

(取材日:令和7年2月10日)



みちのく 農紀行 episode 23 わたしの歩む道

むつ支店管内
まるや たつき
丸谷 竜樹さん 27歳
組合員:本人
農業経営:タラの芽(原木)19.8a、夏秋イチゴ4棟

歩み
就農したのは4年前になります。その前はとび職をしていましたが、ひいおばあちゃんが農業をしていた土地が野ざらしになるのを見て、もったいなさく感じたことがきっかけでした。小さい頃によく遊びに来ていた思い出の場所だったので、「自分で何か野菜を作ってみよう」と農業に挑戦することを決めました。新規就農だったので、まずはビニールハウスを建てたり、資材をそろえたりすることから始めました。最初は地域で盛んに栽培されている夏秋イチゴからスタートし、その後、タラの芽栽培に着手しました。師匠である鴨田輝雄さんが知り合いだったこともあり、わからないことは何でも聞いて教えてもらっています。栽培時の注意点やアドバイスなど、丁寧に教えてくれるのでとても助かっています。

現在
冬場の収入を確保するために、3年前からタラの芽栽培を始めました。種根から木を生長させて、今冬にようやく初収穫を迎えました。初めてにしては木が大きく育ち、タラの芽のサイズも3Lと大きいものが多いです。2月上旬から姉(美樹さん)と2人で、1日に24パック(1パック50g)ほどを収穫しています。自分が育てたタラの芽が県を越えて出荷されているなんて、今は実感が湧いていません(照笑)。一生懸命に育てているので、少しでも多くの方に食べてほしいです。

未来
むつ地区のタラの芽は、先輩の農家さん達が長い年月をかけて作ってきた地域のブランド野菜です。品質向上や販路拡大など大変なことをたくさん乗り越えて、今につながっているのだと思います。ブランドに傷をつけないように、質にこだわりの消費者に喜ばれるタラの芽を作り、守っていききたいです。

思い
ビニールハウスの修繕や改良は前職で得た知識や技術が役に立っています。物をつくるのが好きなので農業は向いているなと感じています。穂木から芽を出す姿が可愛くて、目に見える生長がやりがいにつながっています。今日はどのくらい生長したのかなと毎日見に来るのが楽しみです。一緒に作業をしてくれる姉もいるので心強く、楽しく安心して作業ができています。数年かけて育て、初めて収穫したタラの芽は天ぷらにして食べました。本当においしくて今までにない感動を味わいました。自分で作ったものは別格ですね！

地域ブランド「タラの芽」を守る 〜質にこだわり消費地へ〜



▲紅白繭玉きれいだね・P7参照



▲あったかい鶏汁できてるよ!(女性部おいらせ町支部)・P7参照



▲トコロって知ってるかい?・P8参照



▲地域の後継者集合!

管内の笑顔を収穫 畑でみっけ

未来に残したい農風景やおいしい顔、
農業仲間とのひと時など、
“食”と“農”に関する写真をお寄せください♪

- ①お名前(ペンネーム可) ②写真のタイトル
 - ③撮影時の様子 ④撮影場所
- 上記と合わせてメールでお送りください

E-mail kikaku@jatowada-o.or.jp

大募集!!



▲栽培技術伝授します(プロフェッショナル講座)

目次	1
管内の笑顔を収穫畑でみっけ	2
みちのく農紀行	3
管内支店管内	3
特集 生産組織代表者との意見交換会	4
Photo News	6
ニース 三本木事業所 廃止のお知らせ	9
話題 各コンクール 入賞者 作品紹介	10
お知らせ 情報掲示板	12
お知らせ こだわりの情報	14
楽しむ みんなの広場	15
料理 農家さんの料理教室 タラの芽の肉巻きと生ハム巻き	16
【むつ支店管内】 鴨田輝雄さん(照子さん)	

Agresh 3

2025 月号
No.180

公式ホームページ

Facebook



特集

生産組織 代表者との 意見交換会



J A本店で1月27日、J A生産・協力組織代表者と畠山一男組合長ら常勤理事、J A職員との懇談会を開きました。代表者からあげられた意見や要望を、令和7年度の事業や組織活動に反映させるものです。今回の特集では、各組合員組織の取り組みや要望、当日の主な質疑応答をご紹介します。

令和6年度 重点取り組み事項

野菜振興会(会員数1,362人)

- ◆主力品目の収量増大と品質向上を目指すとともに、計画出荷による有利販売に努め、生産者所得向上および出荷数量の増加を図る
- ◆土壌診断の活用とミネラル野菜栽培の普及拡大を図る
- ◆担い手育成対策に取り組み、技術の普及拡大に努める

畜産振興会(会員数216人)

- [繁殖牛]**
- ◆優良雌牛の保留(ゲノム解析)に組み込む
 - ◆優良子牛の生産に組み込む
 - ◆分娩間隔の短縮に組み込む
 - ◆繁殖雌牛の更新に組み込む
- [肥育牛]**
- ◆十和田湖和牛の銘柄確立に組み込む
 - ◆市場価格の高い枝肉生産に組み込む
 - ◆地元直売所と連携し、十和田湖和牛の販売に努める

- [酪農]**
- ◆畜産環境・衛生問題に組み込む
 - ◆伝染病対策に組み込む
 - ◆生産コストの低減に組み込む

畜産後継者の会(会員数23人)

- ◆会員相互の連帯強化及び管理技術や経営理論等の習得に組み込む
- ◆規模拡大や自立経営に向けた検討会を重ねる

稲作振興会(会員数1,039人)

- ◆令和6年産コメ政策を有効活用する
- ◆稲作生産の多収生産と生産コスト低減を図る
- ◆GAP(農業生産工程管理)への取り組み

果樹振興会(会員数46人)

- ◆リンゴの栽培技術向上を目指すとともに、高品質・安定生産による生産者所得の向上に取り組む
- ◆ブルーベリー栽培技術の向上と収量および系統出荷率増加に取り組む

花き振興会(会員数14人)

- ◆花きの産地づくりに向けた振興策に取り組む

青年部(会員数163人)

- ◆青年部本部の活動活性化に向けた事業に取り組む
- ◆青森県農協青年部協議会、上北地区農協青年部連絡協議会との連携した事業活動に取り組む
- ◆組合員・地域住民へ「農業の大切さ」を広くアピールする広報事業に取り組む

女性部(会員数433人)

- ◆女性部組織活性化に向けた事業活動に取り組む
- ◆「食と農」地域農業を守る活動を基軸とした事業活動の実践に取り組む

主な質疑応答

【総務】

Q1 十和田秋まつりの神輿担ぎについて、毎年担ぎ手が減って担ぐのが大変になっているため、一般から参加者を募っても良いでしょうか。

A1 J Aは地域振興の役割を担っていることから、一般から参加者を募り、継続的に参加することは良いのではないかと考えます。具体的な判断については、令和7年まつりの時期までに協議したいと思います。

【販売】

Q1 資材価格高騰にとどまらず、すべての価格が高騰しています。遠方へ販売要請に行く際、旅費やホテル代も高く、個人負担が発生しています。振興会の役員が販売要請に行くことは必要でしょうか。

A1 農業振興ならびに有利販売のためには、役員の販売要請は必要です。継続した販売要請を行っていただくためにも、生産組織に対する育成費や助成費については、随時精査しながら対応していきたいと考えています。ただし、支部役員研修等では、負担金が発生する場合があります。

【指導】

Q1 農業振興について企画立案をしても、J A職員(指導員)が不足しているため実現に至りません。さらに、指導員が指導以外の業務を負担していることで、本業に専念できていない状況が見られます。営農指導員はJ Aの先頭に立つて、組合員に寄り添っていかねばならないのに、事務所から出られない状況について、組織として十分検討してもらいたいのです。

A1 支店長ならびに指導員が組合員へ向く「パワーアップ・アクション」を行っており、組合員の要望を吸い上げ、毎月の検討会で情報を共有しています。訪問件数については十分とは言えませんが、人材育成やパワーアップ・アクションの強化によって、指導員が本来の指導業務を行えるよう改善に努めます。

【米穀】

Q1 米の出荷契約時(5月頃)に、最低価格でも良いので概算金の金額を提示してほしいです。

A1 全農の示した金額を参考に、各J Aが概算金を提示していますので、出荷契約時の早い段階での提示は難しいです。

Q2

令和6年産米の概算金は15,500円で、昨年末に希望者に対して仮渡金(6,000円)の対応を実施しました。生産者は3,000円でも良いので追加払いしてほしいと思います。そうすれば、J Aの出荷率も上がるのではないのでしょうか。

A2

追加の概算金は、販売先との米の契約が終わらないとお支払いできないルールがあります。令和6年産米は、価格高騰を考慮して、これまで例のない仮渡金対応をしました。

Q3

令和6年産米の価格高騰に伴い、備蓄米や加工米、新規需要米から主食用米へ切り替える農家も増えると思います。J Aの対策を教えてください。

A3

令和6年産米の価格は特別であり、令和7年産米について価格の見直しは不透明です。政府が備蓄米の放出を発表しましたが、これに対するJ Aの取り組みについても現時点では決まっておられません。加工用米等の複数年で契約されている農家の皆さまについては、令和7年も継続して取り組んでいただくこととなります。J Aとしては十分な情報収集を行い、主食用米の価格に近づけられるように進めていきたいと考えています。

【購買】

Q1 畜産農家は飼料価格高騰でいまだ厳しい状況なので、全農や政府に掛け合って対策を講じてもらいたいです。

A1

飼料価格の高止まりや子牛・枝肉価格が低迷している状況について、大変厳しい状況であることは承知しております。1農協での対応は限界があるため、中央会や全農を通じて、全国中央会や国に継続して要望を伝えていきます。

要望(一部)

1. 組合員の年齢構成を示す際、現在の10歳ごとではなく5歳ごとにしてほしいです。70歳と75歳では農業に従事する割合が大きく変わってくると思います。
2. 畜産農家は飼料価格高騰などの影響で飼養頭数が減少しています。令和7年度の組織育成費を決定する際に減額しないよう配慮をお願いします。
3. J A収穫祭で牛肉の販売を復活してほしいです。

2/15 自ら飼育した和牛を販売

県立三本木農業恵拓高校動物科学科の産業動物研究室のメンバー5人は、令和6年度の研究の集大成として、生徒が28カ月飼育した和牛を(株)ユニバース十和田東店で限定販売しました。販売したのは第8回和牛甲子園に出品した去勢牛「七福神」。赤身のうまみ向上を目指した研究を続け、甘みのある味わいに仕上げました。

店頭では購買客に今年度の研究成果を発表。試食コーナーでは、甘みや軟らかさなど食味に関するアンケートを実施しました。

2年の村井柚奈さんは「次の課題はロースの芯面積を増やすこと。アンケートの意見を参考にしながら、課題解決に取り組みたい」と意気込んでいました。



▲飼育した和牛を販売する生徒ら

2/7 旧小正月の風習守る
～雪中田植え、紅白菰玉～

東北町歴史民俗資料館で地域に伝わる旧小正月の伝統行事が行われました。上北小学校の3年生や上野保育園児、長久保耕治町長、町文化財保護審議委員、町民ら150人が参加し、雪中田植えや紅白菰玉づくりなどの風習を再現。五穀豊穡と無病息災を祈願しました。

児童らは御幣を飾った神の田で、五穀(米、麦、アワ、豆、ソバ)のワラを植えた後「ホガホガ(奉賀)」と掛け声をかけながら、魔よけや虫よけになるとされる豆の皮や豆腐のカス、ソバ殻を混ぜた粉をまいて実りを祈りました。

3年生の小笠原星奈さんは「いっぱい育つようにと気持ちを込めて植えた。今年もたくさんお米を食いたい」と笑顔を見せていました。



▲五穀のワラを植える児童ら

Photo News

地域的话题を紹介します

1/31 トマト堅調2・3億円～令和6年度実績報告～

野菜振興会とまと専門部会は、令和6年度産トマトの生産実績をまとめました。猛暑による影響もありましたが、高温耐性のある品種へ切り替えが進んだこともあり、年間出荷量は570トン維持。全国的な品薄もあって、販売高は2億3,500万円、平均単価は1キロ当たり412円と堅調に推移しました。

七戸町の柏葉館で開いたトマト実績検討会では、生産者や種苗メーカー、市場関係者ら50人が集まり、次年度に向けた生産対策を確認しました。また、優良生産者表彰では、販売額や10アール収量、A品率が高かった9人を表彰しました。

受賞者は次のとおりです。

- 【販売額の部】
最優秀賞・瀬川博文
優秀賞・福村みい子/優良賞・久保哲郎
- 【反収の部】
最優秀賞・竹内松蔵
優秀賞・氣田圭/優良賞・久保哲郎
- 【A品率の部】
最優秀賞・作田安喜男
優秀賞・高田一/優良賞・蝦名正雄
一敬称略



▲販売額の(左から)久保さん、福村さん、瀬川部会長

▲反収の部(左から)久保さん、氣田さん、竹内さん

▲A品率の部(左から)高田さん、作田さん

2/1 ももいし野菜センターで資材まつり～仲間交流の場としても一役～



▲豪華景品が当たるガラポン抽選会が大人気!



▲どのお花にしようかな?

ももいし野菜センターで、下田・ももいし支店合同の資材まつりを開きました。集まった生産農家は農業機械や資材、種苗を買い求めたほか、コーヒーやとり汁などで体を温め、仲間との交流を楽しんでいました。

来場した方には、色とりどりの花の中からお好みの1鉢をプレゼント。さらに、会場内で資材等を購入した方に、金額に応じてガラポン抽選券が配布されました。ハズレなしの豪華景品に一番の盛り上がりを見せていました。

会場内には飲食・休憩ブースも設けられ、女性部おいらせ町支部のとり汁や直売所「おはよう広場」のおにぎりなども並びました。来場者はテーブルを囲みながら舌鼓をうち、仲間との会話に花を咲かせていました。

町内の70代女性は「地域の仲間がたくさん集まるので楽しいイベント。資材を購入して、今年も農業がんばります」と意気込んでいました。

2/17 指導力向上に向けて
指導員が試験発表

JA本店で指導員試験発表会を開き、営農指導員11人が今年度行った13課題の試験結果を発表しました。生産現場での課題解決に向けて、試験結果を指導員同士で議論・共有することで、次期作の指導、普及に反映させます。

今回は品目ごとに品種や肥料などを試験し、品質や収量の差を分析する作物部門と、経営改善や堆肥を活用した土壌改善などを研究するプロジェクト部門の2部門で審査を行いました。結果、作物部門は藤坂支店の古川麻衣子係長、プロジェクト部門は大深内支店の縄田尚伸係長が最優秀賞に輝きました。



▲試験結果を共有する指導員ら

2/25 わんが作ったナガイモ
食ってけろー!

七戸支店管内の寺澤祐介さんと野菜ソムリエプロの松尾ゆり子さんが、テレビ埼玉の生放送番組「マチコミ」のコーナー「おいしさまるごとマイスター」に出演し、「TOM-VEGEナガイモ」をPRしました。

番組内では松尾さん考案の「長いもと鯖缶の塩こうじ風味の潮汁」を紹介。寺澤さんは「わんが作ったナガイモ食ってけろー!」と地元言葉で力強く呼びかけました。

※「長いもと鯖缶の塩こうじ風味の潮汁」は当JAホームページに掲載しています。



▲「TOM-VEGEナガイモ」をPRする寺澤さんと松尾さん